

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2020年11月①号

## <議会報告>

### 「市税の減免を廃止する議案」を議決させず！継続審議となりました。

市民への負担を軽減するために行ってきた住民税の減税を廃止すると、約5万人の市民に、新たに市民税1億6000万円の負担が増えることとなります。住民税が増えることにより、関連して、市民の負担はさらに増大することとなります。

<一例>

●高齢者のインフルエンザ予防接種の利用料金が無料の方(1万7000人)⇒2000円の負担に

●後期高齢者医療費の自己負担上限が70才以上の方の外来が月8000円⇒1万8000円の負担に、入院は月2万4600円⇒5万7600円の負担に  
他にも市民の負担が増大するなど57項目、影響額は合計14億8000万円にも及びます。

議会でも大議論となり、議決させませんでした。市民の皆さんの減税反対、撤回を求める声が議会を動かしました。

引き続き11月で議論されます。増税の撤回をさせましょう！

### 京都市立の「聚楽保育所」と「じゅらく児童館」の民間移管の議案が撤回に

市長はこの間25カ所あった京都市立の保育所のうち11カ所を廃止し、民間に移管してきました。議会に民間へ移管する提案がされていましたが、移管先の福祉法人から辞退があり、取り下げられるという事態となりました。



今回の聚楽保育所は2回の公募対して応募がなく、3回目の今回も1事業所のみのお応募でした。

「公立保育園のままで残して欲しい」という保護者や関係者の皆さんの運動の成果です。

市長が市民の願いに応えるべきです。

### 宝物の敬老乗車証を守ろう！市内一円宣伝

70才以上の市民の多くが「敬老乗車証は宝物。大事に使っている」と言われます。市の独自の施策の中でも長く、本当に喜ばれている事業です。高齢者の皆さんの社会参加や生活になくてはならないものになっています。健康のためにも大いに役立っています。7年間に渡り、改悪の反対の運動を続けて来られた成果です。



しかし、市長は今、京都市独自の施策を大胆に見直しをしています。その一つが敬老乗車証制度です。

。党派を超えて市民の宝の敬老乗車証を守りましょう！

烏丸鞍馬口で、連絡会の皆さんとの宣伝で訴える玉本なるみ市議(右端)

### 2021年度の予算要望書を市長に提出しました。

毎年、この時期に来年度の予算を組むにあたっての要望を市長に提出しています。残念ながら市長自身直接に手渡しはできていませんが、総合企画局長に渡し、後に副市長とは懇談もしました。今回は引き続き感染が続くコロナウイルス対策を重点項目として掲げました。市民向けに、懇談会も開き、ご意見を伺い作成しました。



前列右から3人目が玉本なるみ市議。左隣で、手渡ししているのが井坂団長

### 菅政権の危険性

## アンテナ



菅政権に変わり、臨時国会がやっと開催されました。安倍政権の末期、暮しが大変になる中で、新しい政権への期待はあったようですが、さっそく、菅政権の問題点が暴露してきています。

大問題になっているのが、日本学術会議の会員の任命拒否問題です。気にいらぬものを排除するというやり方は危険です。

6人を会員に任命しなかった理由として、旧帝大に偏っているとか女性が少ないなどと言っていますが、任命拒否をしたのは多くは私立大学であり、女性の研究者を拒否もしています。国会で、6人のことを知っているのかと質問されても、よく知らないと思える有様です。拒否をした研究者は、秘密保護法などの制定に批判的立場を取っておられたということがあります。

そもそも、日本学術会議は、戦前の日本が学問の自由がない中で戦争に突き進んで行ったことを反省し、1949年に発足したものです。あらゆる分野で、専門を極めた方々が集まり、議論し政府に提言するわけですから、戦争への道を批判するのも当然です。イエスマンなら意味がありません。菅政権の横暴なやり方に、審判を下すのが、一年以内に実施される総選挙です。野党と市民が力を合わせ、政治を動かしましょう！